

2025年  
厚生労働省  
特別賞

2025年  
大賞

転倒の  
予防に骨折り  
骨折らず  
東京都 鶴の長命

A-1に  
転ばぬ先の  
チエもらう  
京都府 芦田美幸

# 転倒 予防 川柳 2026年 (令和8年) 大募集!

募集期間

2026年(令和8年)  
5/1金 » 7/16木



## 職場の怪我、第1位は転倒

職場では年間36,378人が、転倒事故にあっています。  
転倒はあなたの日常に潜んでいます。

全労働災害の  
被災者のうち  
約4人に1人

高齢者の転倒・転落は、脚の骨折や頭のケガなどの重大な傷害を引き起こすことがあり、寝たきりや要介護の主要な原因にもなっています。高年齢で働く人も増えつつある今、転倒・転落の予防を啓発することが、ますます重要になっています。一人ひとりが健やかで実りある日々をおくれるように、転倒予防に対する意識づけを高めるユーモアあふれる川柳を広く募集します。

応募  
方法

厚生労働省(SAFEコンソーシアムポータル)のフォームからご応募  
ください。詳しくは右記ホームページまたは裏面をご覧ください。

QRコードからも  
応募できます。



主催



日本転倒予防学会

共催



ひと、くらし、みらいのために  
厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare



Safer  
Action  
For  
Employees

2017年以前を受賞作品も  
ホームページで公開しています!

## 転倒予防川柳 歴代の大賞作品

年次	受賞	作品	作者
2018年	大賞	つまずきは 孫は分数 祖母段差	栃木県 青柳 婦美子
2019年	大賞	クラス会 終わって杖の 探し合い	愛知県 P.N さごじょう
2020年	大賞	密減らし 増やしたいのは 骨密度	兵庫県 田村 功
2021年	大賞	いつまでも 密と思うな 骨と愛	神奈川県 佐々木 恭司
2023年	大賞	スマホより 手すりを持って 上り下り	愛媛県 のほほん
	厚生労働省 特別賞	こけかけた 床見たけれど 何も無し	徳島県 羽場 ゆり子
2024年	大賞	ちらかった へやにころがる ものわたし	和歌山県 小野 莉歩
	厚生労働省 特別賞	なぜここで 脚力低下 知る勇気	神奈川県 西川 只幸

※2022年は休止。

## 2026年 転倒予防川柳 応募概要

主催：一般社団法人 日本転倒予防学会 共催：厚生労働省

### 川柳の内容

転倒予防のために、個人で実践していること、地域や周囲の人に勧めている事、転倒を防ぐ工夫や、普段の生活のなかで気をつけたらよいと思うこと、転倒に関連する様々なできごと、思いなど

### 目的

誰もが親しみのもてる川柳を通して、転倒予防の社会啓発活動を推進すること

募集期間

2026年  
(令和8年)

5/1金



7/16木

応募は厚生労働省の  
(SAFEコンソーシアム  
ポータル)フォームから

応募資格	特にありません	ただし、12歳未満の入賞者に関しては入賞確定時に、保護者の同意を確認します。海外からの応募も可能です。
応募作品数	1人1作品(応募者の自作で未公表のもの) ※複数作品の応募が確認された際は、1作品目を有効とさせていただきます。	
賞の種類	大賞、厚生労働省特別賞、佳作、準佳作(該当なしの場合あり)	
受賞の通知	選定後、公表前にメールまたは電話、郵便で受賞者に通知	
公表方法	2026年10月10日(土)	テントオ 転倒予防の日10月(テン)・10日(トオ)にちなんで、日本転倒予防学会と厚生労働省(SAFEコンソーシアムポータル)のホームページ上にて
公表項目	作品、都道府県(国・地域)、氏名(ペンネームも可)	
受賞作品の使用	社会啓発のために、下記の項目で使用されることがあります ① 厚生労働省による転倒災害その他の労働災害防止対策 ② 日本転倒予防学会の関わる転倒予防啓発活動や事業 ③ 日本転倒予防学会が認めた活動や事業(営利・非営利)	
著作権の所在	作者に帰属します	
個人情報	本転倒予防川柳の運営に限り使用し、第三者に開示することはありません	

お問い合わせ先

厚生労働省(SAFEコンソーシアム)事務局

E-Mail

info@safe-consortium.jp